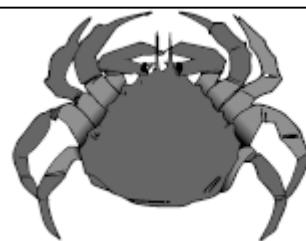


トゲクリガニ

陸奥湾海域

Telmessus acutidens

地方名
はなみがに



生態

寿命：不明
成熟：甲長50mm以上
産卵期、産卵場：9月～12月
生態：12月から翌3月頃にふ化する。その後、脱皮と変態を繰り返し、2月から5月にかけて親ガニとほぼ同じ形となり、底生生活に移行する。

成長

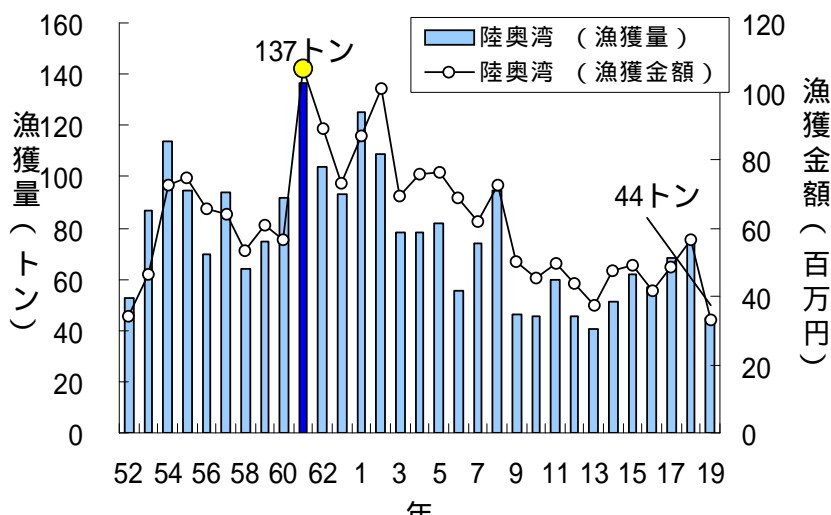
メス、オス共に満1才で甲長約50mm。メスは満2才で甲長約60mm、満3才で甲長約70mm。オスは満2才で甲長約69mm、満3才で甲長約94mm。

主な漁業

籠、刺し網によって漁獲される。

資源評価

昭和61年の137トン进行ピークに長期的な減少傾向にある。平成19年は44トンと昭和52年以降2番目に低い漁獲量となった。



統計ではトゲクリガニ以外のカニも含む数値です。陸奥湾では大半がトゲクリガニです。

図 青森県陸奥湾海域におけるトゲクリガニの漁獲量及び漁獲金額の推移



資源を上手に利用するために

資源管理計画（陸奥湾海域 平成12年3月）

- ・オス甲長7cm未満、メス甲長6cm未満個体、水ガニ（脱皮直後の個体）の再放流などを定めた。

上記取り組みを継続することが必要